

【ちょっぴり早いプレゼント、いただいちゃいました】（長編になってしまいました，すみません）

世の中には当たり前ですが，誰一人として同じ人はいません。なので，学校でも，もちろんみんな違います。その違いは様々なところであるわけですが，その中で，なかなか学習に向かうのが苦手な子どもたちも正直います。

校長室にしばしば登場する A 君もその一人で，なかなか学習へ向かう気持ちになれません。今まで，様々な方法を試みてみたのですが，うまくはいかず，するっと通りぬけてしまうばかりでありました。

そんなA君に対して，秋ごろから心がけたことは1つ。遊ぶ時はとことん遊ぶでした。どうしても，片手間に仕事が気になり，気もそぞろで付き合うことが多かったのですが，それをきっぱりとやめて，遊ぶ時にはとことん付き合うことにしたのでした。



するとA君に少しずつ変化が出てきました。「今日はここまで」というと，気持ちの切り替えが少しずつできるようになってきました。また，A 君には大好きなトランプの「ババ抜き」があって，それをやるための条件として，少し学習をすることを話すと，以前は「じゃあいい。やらない」と，その場からいなくなっていたのですが，少しずつ，プリント学習に臨めるようになってきたのでした。いわゆる，交換条件が成立しはじめたのでした（「ババ抜き」には事務の先生にも協力いただき，大勢でやる楽しさを味わえたのだと思います。これがたぶんA君には大きかったと思います。事務の先生，感謝です。ありがとう）。

すると，記念すべき12月22日。

A 君が「**校長先生，今日，そうじと，プリントやるから，ババ抜きを2回やってほしいんだよね**」とayingてきました。そして，そうじの時間にはぞうきんがけをし，プリントを3枚やり，とても穏やかに，充実した表情で「ババ抜き」を2回戦行ったのでありました。そして，終わったら「**ありがとう**」の一言。2回戦が終わり，少し時間が余っていたので，「まだ，時間があまってる」とぼそっと言いながらも，座っていた椅子をしまい，いつもは閉めていかない戸を閉めて教室へ戻っていったのでした。



これには，トランプをしていた一同，目が点（A 君，ごめんなさい）になり，お互いに顔を見合わせ大変驚いてしまいました。私など夢かと思って，ほっぺたをつねってしまいそうでした。

でも，この A 君の行動に全員が幸せな気持ちになったことは言うまでもありません。

そして，みんなで「一足早いクリスマスプレゼントですね」と笑顔でうなずき合いました。

A 君の学習への向かい方は「交換条件」という，まだまだ危ういものではありませんが，今まではそれさえも成り立つことはなかったです。だから，とても心に残る，一足早いクリスマスプレゼントとなりました。

3階の廊下に貼られていたポスター。読むと，「もみの木を483本切らないと」とチェーンソーマンが言っています。「なぜ483本？」と思いながら階段を降りている途中。ひらめきました。全校の児童分の数でした。「チェーンソーマンってなかなか優しいのねえ。もち，ポスターを描いてくれた君。君の優しさ，さすがです。校長先生，嬉しいです」

